



山梨県森林環境部
森林文化の森

本栖の森

もとす

Motosu no mori



本栖の森は、森林浴や森林レクリエーションなどが楽しめる、皆さんの森です。次の注意事項を守って楽しくきれいにご利用下さい。

ご利用上の注意

- **ゴミは持ち帰りましょう。**
※ゴミの投げ捨ては、森林の景観を損なうほか、野生動物に悪影響を与え、また、水源の汚染にもつながります。
- **木や草を無断で採ったり、案内板や標識その他公共施設を傷つけないようにしましょう。**
※法律で罰せられる場合があります。
- **火の取り扱いに注意しましょう。**
※山火事の原因となります。
- **森林内への車やバイクなどの乗り入れはやめましょう。**
※貴重な動植物を傷つけることになります。

アクセスMAP



お問い合わせ

- **山梨県森林環境部県有林課**
〒400-8501 山梨県甲府市丸の内一丁目6番1号 ☎055-223-1656
- **山梨県富士・東部林務環境事務所** (南都留合同庁舎)
〒402-0054 山梨県都留市田原三丁目3-3 ☎0554-45-7810
- **山梨県峡南林務環境事務所** (西八代合同庁舎)
〒409-3606 山梨県西八代郡市川三郷町高田111-1 ☎055-240-4140

山梨百名山の一つ竜ヶ岳を含む県有林です。本栖湖畔の標高900mから竜ヶ岳の1,485mまでは標高差は585mあり、子供連れのハイキングコースとして楽しめます。本栖の地名は人々の生活の根拠地、集る場所という意味。今も昔の宿場(本栖千軒)の面影が残ります。



竜ヶ岳登山道

石仏

本栖湖に住んでいた竜が富士山噴火の際、溶岩が流れて居られなくなり、竜ヶ岳(小富士)に登ったという伝説があり、石仏は後年江岸寺住職がこの場で供養し経塚を建てたと言われています。

三つの峠

県境の割石峠へ越える端足峠、古関の佛峠、栃代からの御飯峠の三つがあり、かつて静岡県から生鮮魚介類・塩を持ち込み、山梨県からは炭や生糸などの産物を送り出す経路でした。

水中遺跡

弥生時代の遺跡が水中にあり、石罫はかなりの長さになっている。昔からこの地が交通の要衝であり、戦略的にも重要な場所であったことが考えられます。

深田久弥

「富士五湖の中で僕は本栖湖が好きだ。遊覧客の喧騒からも遠いし、水の清澄なこともここが一番…。」

金子光晴

「『五つの湖』山中湖はせきれい。霞のなかのかるい尾羽。額ぶち風な河口湖。樹海のふところからとりだした珠。明眸の精進よ。嫉みぶかさうな、秘めやかな西湖。そして、無の湖、本栖湖よ。」

本栖の森

もとす

概要

富士五湖の中で最も自然が残された本栖湖南岸、山梨百名山の一つ竜ヶ岳山麓に広がる県有林です。

エリアの8割近くを原生的な森林が占め、自然景観や生態系の観察、体験学習の場所として適しています。

石仏から竜ヶ岳～雨ヶ岳の尾根一帯は熊笹が生え、富士山や本栖湖、朝霧高原等を望むことができます。

また、湖畔のキャンプ場をベースに、家族でのハイキングも楽しめます。

信玄公の隠し金山といわれる川尻金山跡は、第二次大戦後も幾年か採掘され、今でも採掘口跡や精練場跡、金山神社祠跡が残っており、当時の繁栄ぶりが森の中でひっそりとうかがえます。



登山道からの眺め

(写真: やまなし観光推進機構)

本栖湖悠久の自然と 峠道文化をたどる森づくり

